

日本気球連盟  
パイロットハンドブック  
第3版

安全委員会

## パイロットハンドブック第3版の発行にあたって

1998年10月にパイロットハンドブック第2版が発行されてから、年月が経過し、その間に気球連盟の根幹をなすパイロット制度、インストラクター制度、イグザミナー制度が改正されました。そのため、ハンドブックの内容が現実とあわなくなっており、このたび、全面改訂し第3版として発行することになりました。

また、1999年からは技能証取得過程でPu/t講習会が導入され、そのテキストとして使えるものが求められるようになりました。そこで、今回の改訂ではパイロットハンドブックを3部構成とし、第1部は気球連盟についての解説、第2部は各種規定を集めた規定集、第3部はPu/t講習会でも利用できるテキストとしました。第3部については、Pu/t講習会のテキストとしての利用だけでなく、すでにパイロットになった方の自習書としても使える内容を目指しました。

従来のハンドブックは製本形式にしていたため、各種規定の改定に伴い、ハンドブックの内容が現実と合わなくなってしまう問題がありました。そこで、今回の改訂版はバインダー形式とし、規定などが改訂された場合は、その部分だけを差し替えられるようにしました。また、テキスト部分についても、今後、随時アップデートしていく予定にしています。アップデートの内容は安全委員会のホームページに掲載しますので、ダウンロードしていただいて、差し替えていただくことになります。

本ハンドブック発行の最大の目的は、パイロット各位の基礎知識修得の一助となり、安全飛行につながることです。本ハンドブックの内容を参考にいただき、事故の無い安全な飛行を楽しんでいただくことを節に希望します。

日本気球連盟 安全委員会  
パイロットハンドブック改訂作業部会

本ハンドブックを日本気球連盟に無断で複写・転用することを禁じます。

本ハンドブックの内容については正確を期すように最大限の努力を払っていますが、もし、本ハンドブックの内容により不利益、問題が生じたとしても執筆者および日本気球連盟は一切責任を負うことはできません。

# 日本気球連盟 パイロットハンドブック 第3版

## 目次

### 第1部 日本気球連盟

- 第1章 日本気球連盟
- 第2章 気球の歴史

### 第2部 規定集

#### [安全規定]

- ・ 熱気球自由飛行安全規定
- ・ 熱気球自由飛行安全規定解説
- ・ 熱気球係留安全規定
- ・ 熱気球係留安全規定解説

#### [技能証関連]

- ・ 熱気球操縦技能証明認定制度
- ・ 熱気球指導操縦士(インストラクター)制度
- ・ 熱気球試験官(イグザミネー)制度
- ・ 熱気球操縦士実技試験実施基準書
- ・ 実技試験 採点表

#### [機体関連]

- ・ 有人自由気球耐空性審査基準
- ・ 有人自由気球耐空性審査基準 解釈及び適用ガイドランス
- ・ 機体登録更新制度
- ・ 機体チェック制度
- ・ 日本気球連盟有人熱気球機体チェックシート
- ・ インスペクター制度

#### [講習会関連]

- ・ Pu/t 講習会公認規定
- ・ Pu/t 講習会公認申請手順
- ・ 指導者講習会開催要項

#### [スポーツ規定]

- ・ スポーツ規定

### 第3部 テキスト

- 第1章 熱気球の飛行原理
- 第2章 熱気球の構造
- 第3章 計器
- 第4章 航法
- 第5章 航空法
- 第6章 気象
- 第7章 事故
- 第8章 保険

### 別冊

- ・ NKR プロパンシステム
- ・ パワーライン事故を避けるために (BFA バルーンニングハンドブックより)

## 執筆者一覧(執筆順)

### 第1部 日本気球連盟

第1章 日本気球連盟

広田 和弘

第2章 気球の歴史

パイロットハンドブック第2版より

### 第3部 テキスト

第1章 熱気球の飛行原理

遠山 貴久

第2章 熱気球の構造

広田 和弘

第3章 計器

広田 和弘

第4章 航法

副島 弘壮

第5章 航空法

副島 弘壮

第6章 気象

平野 慎一郎

第7章 事故

山本 亮介

第8章 保険

山本 亮介